

グルメ 焼き鳥・魚料理 喜界



☎3488-9800 東和泉3-7-27サニーマンション1F 営業=午後5時~12時(ラストオーダー11時)、日曜・祝日休み

和泉多摩川商店街振興組合にある「喜界」は、炭火焼きの焼き鳥とすしや魚料理が楽しめる居酒屋。

店主の桐谷正行さん(54)が担当する焼き鳥は、自店で処理してさまざまな部位を提供しているのが特色。鶏は部位によって14種、ブタ3種、変わり串11種、野菜5種とバラエティーに富んでいる。人気はレバー(220円・価格はすべて税別)や黄身を添えた手ごね

焼き鳥、すしなど豊富なメニュー



つくね(300円)で、量の少ない部位は売り切れることも多い。

焼き鳥以外のメニューが多いのも特色で、毎日市場から仕入れた新鮮な魚介類を使ってベテランすし職人の五十嵐明男さん(63)がすしや刺身などを料理するほか、焼き物や揚げ物、デザートもあり、狛江産の季節の野菜を使った狛江ベジサラダ(580円)が人気。桐谷さんがスーパーの仕入部門で働いた経験を生かし、メインの鶏には国産ブランドの総州古白鶏を使うなど厳選

した素材を仕入れている。また、桐谷さんの出身地の喜界島から取り寄せた自然塩と白ゴマ、黒糖を料理に使うほか、奄美大島の郷土料理・鶏飯(680円)や黒糖焼酎、喜界島ア

イス(300円)も提供している。客席はカウンターやテーブル席に加え、掘りごたつがある個室など40席で、女性客や家族連れも多い。

桐谷さんは「年齢を問わず、素材の持ち味を生かして安心して食べられる料理を楽しんでもらえるようにしており、好評です」と話している。10月からはランチも始める予定だ。



桐谷さん

縄文時代からの秋の味覚 彼岸に収穫のピーク

クリは、縄文時代から親しまれている秋の味覚。旬は9月から10月で、実をゆでて食べるほか、和食をはじめとした料理や菓子などに使われている。

市内ではかつて多くの農家が栽培していたが、現在出荷しているのは数件に減った。岩戸北の三角正弘さん(61)方では、実が大きめで柔らかく、甘味がある「丹



クリ

花が咲いた後、摘果を行う。9月中旬から10月上旬に収穫しており、彼岸の頃にピークを迎える。

三角さん方は10数代続く農家で、稲や野菜を栽培し、約30年前まで市場へ出荷してきた。正弘さんは狛江市の職員のかたわら農業を手伝っていたが、平成8年に退職して本格的に農業を継いだ。現在は約35%の農地でナス、オクラ、ネギ、

旬菜

大根など季節の野菜約10種とクリ、レモン、ミカン等の果樹を妻の美津子さんとともに栽培している。

正弘さんは「クリの栽培は昭和51年から始めましたが、人気が高く、すぐに売り切れます。木の寿命が短いため、もう3代目になりますが、これからも提供していきたいです」と話している。



三角さん

狛江市観光写真コンクールを開催

平成28年度狛江市観光写真コンクール(狛江市観光協会主催)が開催される。

市制施行45周年を記念して昨年初めて開催され、市内外から143点の力作が寄せられた。ことしは「発見! 狛江のまち」をテーマに、多彩な顔を持つ狛江市の魅力をもっと多くの人に見つけてもらい、新しい観光スポットを発掘することが目的。狛江市の自然、寺社、文化財などの史跡、街並みや施設などの景



観、伝統行事やイベントなど、狛江市の魅力にあふれた写真を募集する。

募集期間は10月3日(日)から平成29年1月31日(日)(当日消印有効)で、応募方法などの詳細は観光協会ホームページ(<http://www.komae-kanko.u.jp>)のほか、市役所、公民館などで9月中旬から配布するちらしを参照。問い合わせは☎03-3430-1111(午前

8時30分~午後5時・土・日・祝日・年末年始を除く) 狛江市観光協会事務局(狛江市地域活性課内)。

写真左は、平成27年度狛江市観光写真コンクール優秀賞・ひのでさん「八重桜とハナミズキのせせらぎ」。

10月9日に狛江フォトラリー

写真コンクールに合わせて、市内の観光スポットをめぐって写真の基本的な技術を習う「狛江フォトラリー~市内を巡って写真を撮ろう~」を10月9日(日)午後1時~4時に開催する。

山岳写真の会「白い峰」前事務局長の知見孝一さん、狛江市芸術協会写真部部長の熊井一男さんが、講座形式で基礎的な写真の撮り方などを教えた後、市内を歩きながら現地で実地指導する。当日雨天の場合は講座のみ(午後1時~2時15分の予定)。参加はどなたでも(小学生以下は保護者同伴)でき、定員は先着30人。持ち物はカメラと飲み物で、参加費50円(保険料)。申し込みは23日(金)までに電話(☎3430-1111)で狛江市観光協会事務局(狛江市地域活性課内)へ。



練習に励むメンバーたち

イズミスイングが50周年 22日に記念コンサート

狛江市内で活動するジャズバンド「イズミスイングオーケストラ」(バンドマスター中村星児さん)が創立50周年を迎え、22日(日)午後4時からエコルマホールで記念のコンサートを催す。

同楽団は昭和41年に4人で発足した「アンサンブル泉」が母体で、現在では狛江市を代表する市民楽団として精力的な演奏活動を行い、多くの市民に親しまれている。コンサートでは約2時間にわたってジャズやボサノバ、アニメ音楽など、おとなも子どもも楽しめる曲を演奏する。

入場料は1,000円(高校生以下無料)で、エコルマホール5階事務室などで

前売券を発売している。問い合わせ ☎080-5177-3938 山本さん。



まち

盆踊りで国際交流の輪

狛江市国際交流協会が8月6日(日)に浴衣の着付けと盆踊りの体験を催した。

外国人に日本の夏を楽しんでもらおうと毎年同会が催しているもので、ことしはネパール、ベトナム、フィリピンなどの外国人17人が参加、中央公民館で浴衣の着方や踊りを習ったり、うちわに絵を描いた後、市役所前市民ひろばで行われたいづみ会の盆踊りに参加した。外国人たちはそろいの浴衣で踊りの輪に加わり、市民となごやかに夏の夜の交流を楽しんでいた。



盆踊りを楽しむ外国人

ヌードル逸品コンテスト 投票は12日までに

7月から始まった「わくわく元気! 狛江ヌードル逸品コンテスト」の投票が12日(日)で締め切られる。

投票方法は、専用の投票用紙に所定の事項を記入してコンテスト参加店または狛江市役所地域活性課に置いてある専用の投票箱に入れる。

問い合わせ ☎3430-1111 狛江市地域活性課地域振興係。

狛江百塚をテーマに 5日から展示と講演会

泉の森友の会が「来て見てわかる狛江百塚」と題した展示・講演会を5日(日)~11日(日)午前10時~午後6時(最終日5時)に泉の森会館で催す。

狛江古墳群について写真や模型、パネルなどで紹介するほか、10日(日)午後3時から狛江市教育委員会文化財担当係長の宇佐美哲也さんが講演する。定員は先着80人。入

場は無料。問い合わせ ☎5497-5444 泉の森会館。

コマエンジェルが 10日に10周年公演

狛江市の主婦のパフォーマンス集団「コマエンジェル」(代表・荻野美和さん)が結成10周年を記念して舞台「幾星霜」を10日(日)にエコルマホールで催す。

本公演は入場券が完売したため、午後12時30分からのゲネプロ「プレ幾星霜」(入場料500円)を公開することにした。

同団は、市内の40歳前後の女性で平成18年に結成、狛江市市民まつりなどでパフォーマンスを披露してきたが、10周年を機に初の単独公演を行うことにした。「幾星霜」は、ひとりの女性の生涯を歌謡曲とダンスで表現したオリジナルの舞台で、荻野さんが脚本・演出した。

問い合わせ ☎090-3554-0642 金澤さん。

狛江駅から成城学園前駅まで3分・駅南口から徒歩1分

東京ゆまにて法律事務所

代表弁護士 井口 博(第二東京弁護士会所属)

●代表弁護士は元大阪地裁判事。前司法試験考査委員 ●成城で事務所開設10年。所属弁護士3名。市民相談900件以上 ●相続・遺言・後見を中心に、離婚・不動産・金銭貸借・雇用・多重債務などあらゆる法律問題の相談をお受けします ●法律相談は初回(30分)無料。夜間・休日の相談はお電話で。

☎03-3416-4371 (平日9:30~17:30 ※土・日・祝日休業) ホームページ▶<http://yumanite.jimdo.com/> 世田谷区成城2-40-5ヴェルドミール成城901号 来年度狛江市内に事務所開設予定

北口 成城学園前駅 南口 神戸屋 三井住友銀行

住まいと暮らしの調和を創る

新築木の家は安心・安全 自然と調和 癒し空間

健康優良100年住宅

リフォーム、全面改装 大得意

ご相談、プランづくり無料 建築士専門家が対応します

☎0120-565-321 フリーダイヤルまでお気軽に! 受付時間 9:00~18:00 土日営業

トケン

狛江市岩戸北1-7-9 Email▶info@token-h.co.jp

株式会社 東建ハウジング